

まちの話題

ISA City Topics



伊佐市消防操法大会



7月3日、体育センター前駐車場で伊佐市消防操法大会が実施されました。(表紙)

午前中は雨が降ったり止んだりの荒天でしたが、選手は競技に集中し、真剣に機敏な動きをみせていました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

◎ポンプ車操法の部

団体優勝 第11分団

個人優秀賞

大野 美智人(指揮者・第11分団)

下城 正剛(指揮者・第12分団)

郡山 偉大(1番員・第7分団)

長野 吉泰(2番員・第5分団)

平出水 一文(3番員・第6分団)

吉崎 勝彦(4番員・第11分団)

◎小型ポンプ操法の部

団体優勝 第10分団

個人優秀賞

木ノ下 耕吉(指揮者・第8分団)

永里 和也(1番員・第3分団A)

黒木 幸彦(2番員・第10分団)

岩下 昌弘(2番員・第9分団)

西 弘悦(2番員・第3分団A)

下津曲 健児(2番員・第3分団B)

柿ノ迫 友則(3番員・第9分団)

被災地へ義援金



大口小学校の児童が「復興に役立てて欲しい」と、東日本大震災と熊本地震被災地への義援金を集めました。

7月14日、児童代表の6年生2人が市長室を訪れ、市長に義援金を手渡しました。

義援金は、市を通じてそれぞれの被災地に届けられます。

花募金へ寄附



県内在住の伊佐市出身者で構成されるふるさと会「鹿児島伊佐会」から、いさ花募金へのご寄附をいただきました。

ありがとうございました。

ふるさと学寮



6月22日から25日までの4日間、市内10か所の校区コミュニティ主催による「ふるさと学寮」が行われました。

このふるさと学寮では、子どもたちが家庭を離れて公民館などに宿泊し、地域の人々の協力を得ながら自分たちで炊事や掃除、洗濯といった身の回りのことをして学校に通います。

今年初めてふるさと学寮をおこなった大口校区では、9人の児童が参加。地域の人々の家の風呂を借りる「もらい風呂」や食事の準備・片づけなどを体験しました。

田植えとバスケットで交流



6月26日、プロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の選手と伊佐市の小中学生が交流する「田んぼ de REBNISE (田んぼでレブナイズ)」が行われました。

大口中央中学校バスケットボール部の生徒など約50人の子どもたちが参加し、バスケット教室で基本の技などを教わった後、菱刈中学校前の田んぼで田植えをしました。

チーム名に掛けて「れぶらいす」と名付けられた米は、11月に収穫した後、レブナイズの試合会場で販売されます。

安心のための備え



6月13日、大口校区コミュニティは、コミュニティサロンさくらの会の月例会に合わせ「防災ふれあい講座」を開催しました。

大口コミュニティの石原会長は、諏訪馬場自治会長を務めていたときに作成した「防災のしおり」をもとに、気象情報に注意することや非常持出品として何を準備するか、といった日頃の心掛けや、避難所や避難経路の確認など避難時の心得について語りました。

受講した24人は、配られたしおりをじっくり読み自助の大切さについて勉強しました。

伊佐が舞台の歌



熊本県あさぎり町出身の歌手兼作詞作曲家の松山順さんが、6月28日、伊佐市カラオケ同好会の皆さんと市長を表敬訪問されました。

松山さんは伊佐を舞台にした楽曲「伊佐の大口物語」を制作し、歌手・麻生慎二さんに提供されました。この歌は、伊佐を訪れ、伊佐の魅力に触れ、そして伊佐に暮らすようになる二人を歌っています。

松山さんは「伊佐市出身者の皆さんがふるさとを懐かしんでくれたら」とコメントしました。

カリスマ指導者による 吹奏楽指導



6月26日、文化会館大ホールでカリスマ指導者による吹奏楽指導が行われました。これは中高生連携推進事業によるものです。

指導者の藤重佳久教授（長崎県活水女子大学音楽学部）は、生徒たちに「リズム」・「メロディー」・「ハーモニー」の重要性や楽しく演奏することの大切さを教えました。

生徒たちは緊張感を持ちつつも、和やかな雰囲気の中で指導を受け、大ホールにきれいな音色を響かせていました。

賑わう e-Ga なんちゅう



7月2日、「e-Ga なんちゅう de ISAnoBA」と題したマルシェ（市場）イベントが開催されました。

食べ物や雑貨、体験コーナーといった市内外の約50店舗の出店や、ダンスや音楽ライブなどの披露もありました。梅雨の晴れ間となったこの日は、親子連れなど多くの来場者があり、お昼時にはピザなど食べ物の店舗には行列ができていました。

また「いさ宝探しツアー」という独身男女の出会いイベントも同時開催され、参加者はダンスや太鼓の体験活動を通し、新しい出会いを楽しんでいました。

鎌手踊りの継承



山野小学校6年生が、校区の石井自治会に伝わる「石井鎌手（かまんで）踊り」の習得に励んでいます。鎌手踊りは、4人1組で鎌と長刀に見立てた道具を使って踊ります。

児童らは7月に3回、保存会の皆さんによる指導を受けました。まず映像を見ながら動きを覚え、慣れてくると「細かい動きが難しい」と、お手本の踊りを熱心に見て繰り返し練習していました。

11月に学校の学習発表会で発表します。

社会を明るくする運動



7月の運動強調月間に合わせ、1日、大口庁舎玄関前で「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。伊佐保護区保護司会や市の関係者が出席し、中島一夫会長から市長へ法務大臣と鹿児島県知事のメッセージを伝達しました。

また16日には陸上競技場で、市内から16チーム80人が参加し、啓発活動としてグラウンドゴルフ大会が開催されました。